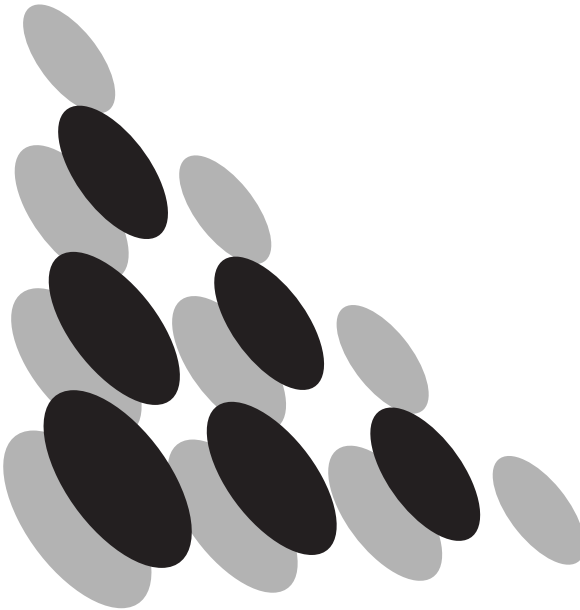


PRIMERGY

内蔵DDS4ユニット(ドライブケージ付)
[PG-DT402D/PGBDT402D]
取扱説明書



はじめに（梱包物の確認）

このたびは、PRIMERGY（プライマジー）用内蔵DDS4ユニット（ドライブケージ付） [PG-DT402D/PGBDT402D] をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、サーバのデータをバックアップするための補助記憶装置です。

本書は、内蔵DDS4ユニット（ドライブケージ付）（以下、本製品）の取り扱い方法やインストール方法などの基本的なことがらを解説しています。

本書をご覧になり、本製品を正しくお使いいただきますよう、お願いいたします。

2002年9月

梱包物を確認してください

- 内蔵DDS4ユニット（ドライブケージ付）
- クリーニングカセット
- 3.5インチフロッピーディスク（デバイスドライバ）
- 保証書
- 取扱説明書
- DATユニット取扱い注意シート
（DATユニットを正しくご使用いただくために）
* 訂正）本シート上に記載のクリーニング使用可能回数について誤記があり、
50回⇒25回に訂正します。

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当保守員までお申しつけください。

Microsoft, Windows, Windows NT, MSおよびMS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2002

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読し理解された上で本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

感電



△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は感電注意)が示されています。

分解



⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が示されています。

プラグ



●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が示されています。



警告

窒息



梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

感電



異物(水・金属片・液体など)が装置の内部に入った場合は、ただちにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社担当保守員にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感電



開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

感電



装置をお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

目次

| | |
|-----------------------|---|
| 1 インストール | 1 |
| 2 各部の名称と働き | 3 |
| 3 データカートリッジについて | 4 |
| 4 クリーニングについて | 5 |
| 5 取り扱い上の注意 | 6 |
| 6 バックアップ運用上の注意 | 7 |
| 7 仕様 | 8 |

1 インストール

次の順番に本製品をインストールする必要があります。

- 1) ジャンパの設定を行ってください。
- 2) 本製品をサーバ本体に搭載してください。
(サーバ本体の取扱説明書をご確認ください。)
- 3) SCSIケーブル・電源ケーブルを接続してください。
(サーバ本体の取扱説明書をご確認ください。)
- 4) 必要なソフトウェアをインストールしてください。

1.1 ジャンパの設定について

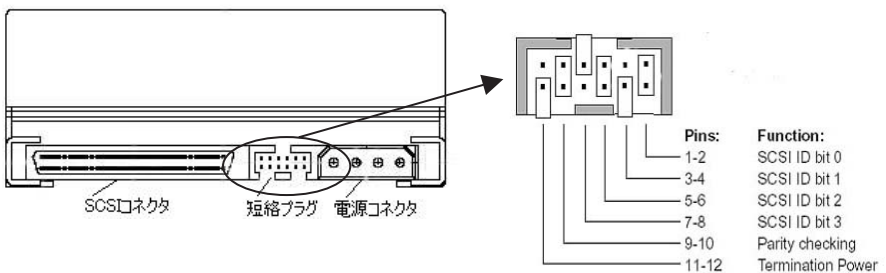
サーバ本体に本装置を内蔵する場合、SCSI-ID番号の設定が必要になります。

SCSI-ID番号は、本装置後面（下図）のショートジャンパで設定し、以下の表のように設定することができます。

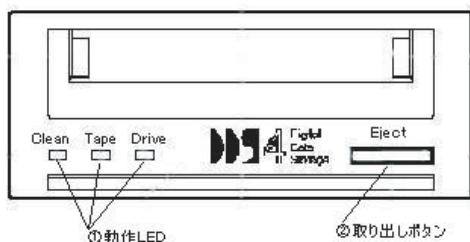
ID Bits 0、1、2、3以外のジャンパの設定は使用しないでください。

| ID Bits 3 | ID Bits 2 | ID Bits 1 | ID Bits 0 | SCSI-ID番号 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| オープン | オープン | オープン | オープン | 0 |
| オープン | オープン | オープン | ショート | 1 |
| オープン | オープン | ショート | オープン | 2 |
| オープン | オープン | ショート | ショート | 3 |
| オープン | ショート | オープン | オープン | 4 |
| オープン | ショート | オープン | ショート | 5 * |
| オープン | ショート | ショート | オープン | 6 |
| オープン | ショート | ショート | ショート | 7 |
| ショート | オープン | オープン | オープン | 8 |
| ショート | オープン | オープン | ショート | 9 |
| ショート | オープン | ショート | オープン | 10 |
| ショート | オープン | ショート | ショート | 11 |
| ショート | ショート | オープン | オープン | 12 |
| ショート | ショート | オープン | ショート | 13 |
| ショート | ショート | ショート | オープン | 14 |
| ショート | ショート | ショート | ショート | 15 |

* 出荷時設定



2 各部の名称と働き



2.1 動作LED

(1) 動作LED

Clean : 装置のクリーニング要求を示すLEDです。

Tape : データカセットが装置内に挿入されていることを示すLEDです。

Drive : 装置が動作中であることを示すLEDです。

LEDの表示状態とその装置状態については、以下の詳細一覧となります。

| 装置の状態 | | LED表示状態 | | |
|--------|----------------|----------|---------|----------|
| | | Clean(緑) | Tape(緑) | Drive(橙) |
| 電源投入 | 装置自己診断中 | * | * | * |
| | テープ未挿入 | ● | ● | ● |
| テープ挿入 | 挿入中 | ● | ○ | ○ |
| | 挿入完了 | ● | ○ | ● |
| テープ排出 | 排出中 | ● | ○ | ○ or ● |
| | 排出完了 | ● | ● | ● |
| テープ動作中 | 書込／読出／走行中 | ● | ○ | ○ |
| クリーニング | クリーニング要求 | * or ○ | — | — |
| | クリーニング中 | ● | ○ | ○ |
| | クリーニングカセット交換要求 | ** | ○ | ● |
| エラー発生 | テープ系エラー発生 | — | ** | — |
| | 装置故障 | — | — | ** |

● : 消灯

* : Slow点滅 (500ms間隔)

○ : 点灯

** : Fast点滅 (250ms間隔)

— : 表示状態は無関係

注) ヘッドが汚れている場合や、データカセットが消耗している場合は、挿入及び排出に約3分間要することがありますが、装置の異常ではありません。クリーニングを行ってください。再度、同一現象が発生する場合、データカセットの交換をお願いします。

(2) 取り出しボタン

データカセットを取り出す時に本ボタンを使用します。ボタンを押し暫くすると、自動的にカートリッジが排出されます。

3 データカートリッジについて

本製品には以下のデータカセットをお使いください。

| 品名 | 商品番号 | 記憶容量 | 出荷単位 |
|---------------------|---------|---------|------|
| データカセットDAT CT20GB | 0121190 | 20/40GB | 5巻 |
| データカセットDAT CT12000 | 0121180 | 12/24GB | 5巻 |
| データカセットDAT CT4000 | 0121160 | 4/8GB | 5巻 |
| データカセットDAT CT2000 注 | 0121150 | 2/4GB | 5巻 |

注：復元（リード）のみ可能であり、退避（ライト）は不可です。

【使用上の注意】

(1) 使用カセット

上記以外のデータカセットでの退避／復元は、装置または媒体に悪影響を及ぼす可能性がありますので、使用しないでください。

(2) 使用環境

「仕様」に記載の温度／湿度条件のもと、「取り扱い上の注意」をご確認の上、ご使用ください。

(3) 保管環境

以下の環境のもと、専用ケースに入れ、「取り扱い上の注意」をご確認の上、保管してください。

温度：5～32℃ 湿度：20～60%（結露なきこと）

(4) 書込保護

データカセットのデータを保護（ライトプロテクト）するときには、図（丸囲み）のタブをスライドさせ、オープンにしてください。



(5) データカセットの寿命

データカセットは消耗品です。消耗した状態で使い続けると、ヘッドに悪影響を及ぼし、読み書きができなくなったり、装置が故障する原因となります。

お使いになる環境（温度、湿度、埃など）や装置の動作状況により異なりますが、75回の使用または1年（週1回使用の場合）を目安に、定期的に交換してください。

4 クリーニングについて

本製品には以下のクリーニングカセットをお使いください。

| 品名 | 商品番号 | 出荷単位 |
|-----------------|---------|------|
| クリーニングカセットDAT-N | 0121170 | 1巻 |

(1) クリーニング方法

クリーニングカセットを挿入すると、自動的にクリーニング動作が行われ、約20秒後に、自動的に排出されます。

(2) クリーニングの必要性

本製品は、磁気ヘッドによるデータの読み書きを行っており、埃やゴミあるいはデータカセットのテープから発生する磁性粉にてヘッドが汚れていると、以下の悪影響を及ぼすこととなります。クリーニングカセットによる定期的なクリーニングを必ず行ってください。

- ・データの読み書きが正常に行われません。
(ヘッドに汚れがこびり付くと、永久的に使用できなくなります。)
- ・データカセットの磁気テープの記録面への汚れの付着、傷の発生により、永久的に使用できなくなります。
- ・データカセットの寿命(使用回数)が減少します。

(3) 定期的なクリーニング

以下の場合に、必ずクリーニングを行ってください。

- ・本製品の使用25時間毎に1回
一般的には、『毎週月曜の朝』などの、定期的なクリーニングをお勧めします。
- ・本製品が未使用の場合でも、1カ月に1回
- ・新品のデータカセット挿入前
- ・本製品の“Cleanランプ”点灯等

(4) クリーニングカセットの交換

クリーニングカセットを本製品でのみ使用した場合、1巻あたりの使用可能回数は約25回です。以下の場合にも、新しいクリーニングカセットに交換してください。

- ・クリーニング後も“Cleanランプ”が高速点滅し、1分経っても自動排出されない場合
- ・右側のリールにすべてテープが巻き取られている場合(再利用はできません。)

5 取り扱い上の注意

⚠注意

本製品は精密機器ですので以下のことに注意してください。

- 本製品を分解したり、解体したりしないでください。
- 本製品は以下の環境で動作させたり、保管したりしないでください。
 - ・ 極端な低温環境
 - ・ 極端な高温／多湿環境
 - ・ 温湿度変化の激しい環境
 - ・ 磁気の影響を受けやすい場所
 - ・ 衝撃や振動の加わる場所
 - ・ ゴミや埃（煙草の煙、土埃、排気ガスなど）の多い環境
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 発熱器具のそば
- 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、お使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカートリッジを損傷することがあります。大きな温度変化があった時は、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- サーバ本体の電源を切るときは、データカートリッジを取り出してください。データカートリッジを装置に挿入すると、磁気テープの記録面が露出されます。本状態が長く続くと、記録面への埃の付着やキズ発生の可能性があります。データカートリッジが永久的に使用できなくなることがあります。
- ご使用にならない場合は、本製品からデータカートリッジを取り出してください。また、データカートリッジを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- データカートリッジを挿入時、無理に押し込まないでください。
- 内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。もし何か異物が入ったときは、お買いあげの販売店または弊社担当保守員にご相談ください。
- 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- サーバ本体の扉を閉めた状態でソフトウェア上からの媒体排出は行わないでください。

6 バックアップ運用上の注意

- データの圧縮率は、目安として2倍程度としておりますが、データの内容により圧縮率は変化します。ソフトウェアにより圧縮処理されたデータでは、本製品による圧縮効果は期待できません。
 - 以下の要因により、バックアップ性能が変化します。
 - ・ ご使用されるデータカートリッジの記録面の状態（消耗、汚れなど）
 - ・ 本製品のヘッドの汚れ状態
 - ・ データの圧縮率
 - ・ サーバの負荷状況
- なお、本製品の最大データ転送速度を発揮するためには、データカセットDAT CT20GB（商品番号：0121190）またはデータカセットDAT CT12000（商品番号：0121180）を使用する必要があります。
- 毎日、同一データカートリッジ1巻によるバックアップ運用では、バックアップに失敗した場合、全データが失われる危険があります。複数のデータカートリッジによるバックアップ運用を行うことにより、トラブル発生時の被害を最小限にすることができます。
例) 曜日毎のデータカートリッジによるバックアップ運用をお奨めします。
 - Windows NT 4.0またはWindows 2000のWindows Backupをご使用になる場合は、本装置に添付されているフロッピーディスク内のドライバをご使用ください。以下の手順でドライバをインストールしてください。

[Windows NT]

- 1) 'Administrator'権限でWindows NTにログオンしてください。
- 2) 'スタート'ボタンをクリックし、'設定 (S) 'ー'コントロール (C) 'をクリックしてください。
- 3) 'テープデバイス'のアイコンをダブルクリックしてください。
- 4) 'ディスク使用 (H) 'ボタンをクリックしてください。
- 5) FDディスク（デバイスドライバ）をFDドライブに入れたのち、'参照'をクリックしてください。
- 6) 'WinNT'ディレクトリをダブルクリックし、'oemsetup'をダブルクリックしてください。
- 7) 'OK'ボタンをクリックし、'Seagate DAT (stdat4.sys) 'をダブルクリックしてください。
- 8) 『新しいテープデバイスが見つかりました』というメッセージが表示されます。'OK'ボタンをクリックしてください。
- 9) 『SEAGATE DAT 9SP40-000（ドライバが読み込まれました。）』と表示されます。'OK'ボタンをクリックしてください。
- 10) サーバを再起動してください。

[Windows 2000]

- 1) 'Administrator'権限でWindows 2000にログオンしてください。
- 2) 'スタート'ボタンをクリックし、'設定 (S) 'ー'コントロール (C) 'をクリックしてください。
- 3) 'システム'のアイコンをダブルクリックしてください。
- 4) 'ハードウェア'のタグをクリックしてください。
- 5) 'デバイスマネージャ (D) 'ボタンをクリックしてください。
- 6) '? SEAGATE DAT 9SP40_000...'をダブルクリックしてください。
- 7) 'ドライブのタグをクリックし、'ドライブの更新 (D) 'ボタンをクリックしてください。
- 8) 『デバイスドライブのアップグレードウィザードの開始』と言うメッセージが表示されます。'次へ (N) 'ボタンをクリックしてください。
- 9) 『デバイスに最適なドライブを検索する (推奨) (S) 』をクリックし、'次へ (N) 'ボタンをクリックしてください。
- 10) FDディスク (デバイスドライブ) をFDドライブに入れたのち、『フロッピーディスクドライブ (D) 』をクリックし、'次へ (N) 'ボタンをクリックしてください。
- 11) 『次のデバイスのドライブが検索されました:』と表示されます。'次へ (N) 'ボタンをクリックしてください。
- 12) 『デバイスドライブのアップグレードウィザードの完了』と言うメッセージが表示されます。'完了'ボタンをクリックしてください。'閉じる'ボタンをクリックしてください。
- 13) サーバを再起動してください。

7 仕様

| | | |
|-------------------|----------------------------|-----------------------|
| 品名 | 内蔵DDS4ユニット(ドライブケージ付) | |
| 型名 | PG-DT402D/PGBDT402D | |
| データ記憶容量 (非圧縮) | 20GB | |
| 実効データ転送速度 (非圧縮) | 最大2.75MB/s | |
| データ・フォーマット | DDS, DDS-2, DDS-3, DDS-4 | |
| インタフェース | Ultra 2 Wide SCSI (LVD/SE) | |
| クリーニング周期 | 25時間使用毎 または 1ヶ月毎 | |
| 質量[Kg] | 0.52 | |
| 消費電力[W] | 最大6.9 | |
| 発熱量[kJ/h] | 最大22.7 | |
| 環境条件 (結露しないこと) | 温度 | 稼働時：10～35℃ 休止時：5～40℃ |
| | 湿度 | 稼働時：20～80% 休止時：10～90% |
| 最高湿球温度 | 28℃ | |

PRIMERGY
内蔵DDS4ユニット(ドライブケージ付)
[PG-DT402D/PGBDT402D]
取扱説明書
B7FY-0601-01

発行日 2002年9月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU